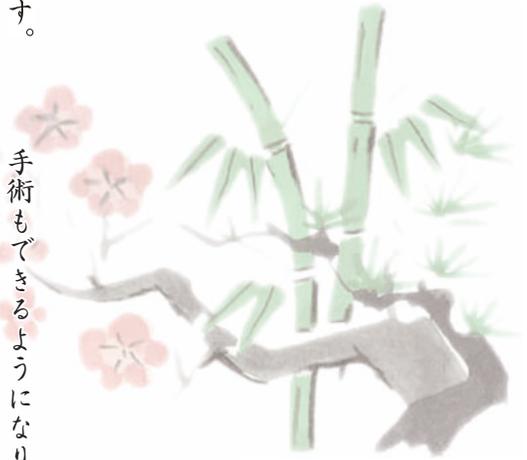


賀正



安全安心で暮らしやすいまちづくり
ブランド力のあるまちづくりを推し
進めてまいります。

筑西市長 吉澤 範夫

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

こうして新たな年を迎えることができた喜びを、私をはじめ、多くの市民、国民のみならず、今までとは違う重みを持って受け止めていらっしやることと思います。それと同時に、共に新年を迎えるはずだった家族を失い、新春の団らんの間となるはずだった家を失った多くの方々のことを思うと、あの震災の悲劇・悲しみは決して消え去るものではないことを痛感いたしました。

本市におきましても、東日本大震災によって、多くの家屋が被災し、小中学校や市民病院などの公共施設にも大きな被害を受けました。特に被害が大きかった筑西市民病院は、既存の病棟が使えなくなり、一時は駐車場のテントやプレハブで何とか診療を続けてきましたが、新病棟の建築工事が10月に完成し、11月1日から入院患者の受入れを再開いたしました。新病棟での

手術もできるようになりました。以前に比べて規模は縮小されましたが、地域医療の要である市民病院の役割を、なんとか回復することができたものと思っております。

震災によって、本市の市政運営の舵取りも、少なからず方向修正を余儀なくされましたが、それでも、これまで進めてきた行政課題解決の歩みを緩めることはできません。震災からの復旧復興に全力を挙げつつ、本市の大きな課題である人口減少をくい止めるためにも、福祉・教育・生活基盤の整った安全安心で暮らしやすいまちづくり、人が集まる魅力をもったブランド力のあるまちづくりを推し進めてまいります。

そして、最優先課題と位置付けてきた「新中核病院」の建設につきましては、国の地域医療再生臨時特例交付金を活用しての建設には、スケジュール的にかなり厳しい状況になりましたが、もしここで断念すれば、地域医療の衰退を

招くことになりかねませんので、関係機関と再度協議し、実現に向けて最大限の努力をしてまいります。

昨年の震災は、私たちに大きな試練を与えましたが、一方で、日本人の心の優しき、力強さを再認識することにもなりました。震災の悲劇も、震災で得た教訓も決して忘れることなく、前進への力に変え、共に頑張つてまいります。

2012年こそは、平和で希望に満ちた明るい1年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新春 対談

筑西ふるさと大使に「鎌田由美子」さん

筑西市長

吉澤 範夫

鎌田 由美子

東日本旅客鉄道株式会社
事業創造本部地域活性化部門部長

吉澤市長より委嘱書の交付



筑西ふるさと大使を委嘱

平成23年11月12日、筑西市の知名度アップや本市固有の魅力や良さを広く全国に紹介していただく「筑西ふるさと大使」を、本市出身の鎌田由美子さんに委嘱しました。

市長…本日は、お忙しい中おいで頂きまして、大変ありがとうございます。ありがとうございます。

鎌田…よろしくお願ひいたします。私がJRに入社したのが平成元年で、JRが文系の総合職を初めて採用した年だったんです。当時、女性比率が1%もなくてですね、今でも大体7%ぐらいです。

市長…JRさんの発想は画期的でしたね。今まさに女性の時代が来りましたから。

下館の銘菓「鳩杖最中」をどうぞ。文化勲章受章者の板谷波山先生が、高齢者に長寿の祝いにと自作の鳩杖を贈られたことに由来するものです。茨城県は3人の文化勲章受章者を輩出していますが、うち

あけましておめでとございます。

新春特別企画として、昨年1月に筑西ふるさと大使を委嘱しました本市出身の、かまたゆみこ鎌田由美子（旧姓・羽田）さんと吉澤範夫市長の対談を紹介いたします。

鎌田さんは、「エキナカビジネス」を推進し成功を収め、「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006」を受賞するなど、女性の社会進出のリーダー的存在です。

2人が筑西市出身で、もうひとりが森田茂先生です。

鎌田…今回、筑西市の資料を拝見しましたが、自分の生まれ育った土地のことを案外知らないんですね。自分のまわりの特産品というのがわからなかつたです。

市長…筑西市や結城市、桜川市の農作物は京浜市場では断トツです。

鎌田…市場に出るものは買えるんですが、これだけ美味しいうものがたくさんあるのには、もつと地元で買うところが、あつたらいいなと思います。

市長…10月末にファーマーズマーケット「きらいち」ができたんですよ。ぜひ見ていただくください。

—エキナカ開発の概念は—

市長…鎌田さんは、JR東日本本の「エキナカ」開発を成功に導いたリーダーとして一躍有名になりましたが、どのような概念で取り組まれたんですか。

鎌田…2001年からの中期計画に「ステーションネットサンス」という計画があり、駅をゼロから見直そうということになりました。その中で、

駅の混雑緩和やバリアフリー化、老朽化への対応はできていくかという課題の中で、候補が上がったのが大宮駅なんです。駅空間自体をトータルデザインするという概念のもと、バリアフリー化をするにあたって、狭小面積の問題を

解決するために、人工地盤を張る工法がとられました。今では珍しくありませんが、当時は珍しい工法でした。商業をやりたくてエキナカが生まれたわけではないので、機会がありましたらトイレ、コンコースを含めご覧ください。トイレもきれいだと思えます。



大宮駅 ecute (エキュート)





筑西市長 吉澤 範夫

筑西市は恵まれすぎていい。何か特色を出し活かしていきたい

人たちのやる気とか、外のアイデアを入れてもよいのではないのでしょうか。よく、まちづくりには「よそ者、ばか者、わか者だ」といいますが、ばかになるくらい没頭する人がいないとできないですね。

市長…今も、エキナカ開発に携わられているんですか。

鎌田…3年ほど前まで※エキニートを運営する子会社の社長をやらせていただいたのですが、その後本社に戻りまして、今は地域活性化を担当しています。

市長…ぜひ筑西市の活性化にもお知恵を貸していただきたいと思います。地方の場合は、特に郊外の大店舗化が進んできましたので、街中の高齢者が買い物難民という状況に陥っています。

鎌田…どこの市町村も同じような悩みを抱えていると思います。高齢化が進んでいくと、車を持たない人たちが増えます。鉄道、タクシーとか

バスを結びつけて、どう2次アクセスをできるかだと思います。

—筑西市のイメージは—

市長…鎌田さんから見ると筑西市はどのような印象をお持ちですか。

鎌田…正直、紹介しづらいですね。板谷波山先生や森田茂先生であるとか、文化面は知られているのですが、地域活性化の視点から「都心からアクセスも良くて特徴ある農産物やフルーツを楽しむエリアがここにあるんですよ」ということであれば強力に押し進められると思いますけど、行って何が楽しめるのかが分かりづらいと思います。

市長…小玉すいかでも、実質総売り上げはトップなんです。鎌田…旬のものを加工品にして出荷するためには、通年を通した販路が必要になってくると思います。

市長…すいかで作ったアイスクリームが、JAの女性部会でやっていると聞いています。まだコストが高くて商品化が難しいそうです。

鎌田…たぶん美味しいと思います。梨もそうだと思います。加工が弱いのが、どこの地方も共通のところがありますね。

—筑西市の活性化—

市長…筑西市は人口減少が著しい。鎌田さん何かアドバースがありましたか。

鎌田…私も故郷を離れて久しいんですが、先日下館一高へお邪魔させていただきました。いばらき大使として、郷土の

誇りや生きる素晴らしさを若い世代に伝える「先輩からのメッセージ」ということで講演をさせていただきました。「働くということ、仲間と創るビジネス」という演題でお話ししたんですが、生徒さんの目力というか真剣さというのが伝わってまいりました。最後に生徒会長さんから立派なお礼の言葉をいただきました。

将来をきちんと考えている高校生たちがこんなにピュアに育っているんだと、自分の母校としてすごくうれしかったですね。どこでもそうですが、大学の時点で町を出てしまっているんですね。戻ってきて仕事もなかったりとか。筑西市は、特に土に根ざしている農業とかの第1次産業そして第2次産業。※6次産業化を見据えた1次、2次産業を考えると、

もう少し行政の力とか、若い人たちのやる気とか、外のアイデアを入れてもよいのではないのでしょうか。よく、まちづくりには「よそ者、ばか者、わか者だ」といいますが、ばかになるくらい没頭する人がいないとできないですね。



母校 下館一高での講演

市長…今、「ちつくタッグ」という地域活性化グループができて、ロケ誘致とか特産品開発で活躍いただいています。今日はその関連で、筑西市の特集が組まれている雑誌を用意いたしました。

鎌田…すばらしいですね。(雑誌の中の)コスモスとひまわり畑が、こんなすこかったんだと驚きました。

市長…はとバスも来ているんですよ。4ヘクターに



かまだ ゆみこ
鎌田 由美子さん

筑西市には、たくさんのスポットがある。その次の展開で産業の創出を

100万本あるんです。

鎌田…要はここから派生するビジネスをどれだけ取り組まれているのか。例えば、ひまわりの種や苗をプレゼントできるパッケージを作り、お料理とかスイーツと絡めて、お土産になるところまでもっていくと、そこからさらに広がっていくと思います。

市長…宮山公園では野菜とかお土産を置いてあるお店があり、小さくても年間3億も売り上げたこともあります。
鎌田…筑西市にはスポットや

名所はいっぱいありますね。

筑西市に来てもらって、その次のところがあるともっと産業が出てくると思います。
市長…SLもここが始発なんです。何か利用できないかと思っっています。何か特色を出していきたいですね。

鎌田…ひまわりもコスモスもすごいですが、逆に恵まれすぎて特色を打ち出しづらいのでしょうか。
市長…恵まれすぎて、活かされていらないんですかね。
鎌田…何気ないものを、逆に

スターにするということもあるかもしれないですね。

市長…常陸秋そばですが、筑西市は、茨城県で断トツの生産量と生産量を誇っているんですよ。一面真っ白になるぐらいの作付があります。私の家の前が一面ソバ畑で、何の障害もなく筑波山が見えるんですが、1週間カメラマンが朝5時ごろから来ていますよ。

鎌田…絶景ですね。カメラマンが集まるスポットの一番多い市となると、マニアの方も

来ますよ。

市長…旭ヶ丘には遊水地に筑波山が映る風景があり、伊讚美では、麦畑が一面黄金色のじゅうたんを敷いたように染まるんです。結構観光資源が埋もれているんです。

鎌田…筑西市が何で売っているかと言ったら、「農」で売って行った方がいいと思いますよ。農に文化はついてくれると思うので。

市長…「ちづくタツグ」もそうですが、今、ようやくそのような気運が高まってきている状況かと思っています。

鎌田…昔ながらのこういう景色は外国の方や日本の若者にはすごく喜ばれますけど、意外とこういう景色残っているところは少ないですよ。

男女共同参画社会づくり

市長…9月に筑西市は「男女共同参画都市宣言」をしたんですが、男女共同参画社会づくりへのアドバイスがありましたら。

鎌田…様々な企業がダイバーシティという言葉で女性の社会参加を大いに推進しています。弊社も55か所の子

育て関係の施設を持つていて、そのうちの45が保育園なんです。

市長…初めて聞きました。

鎌田…埼京線はすべての駅にあり「子育て路線」とネーミングし、強化したんです。立川のエキキュートにもあります。意識して男女がどうかというより、働きやすい環境を作るには男も女もない。ましてや人種も関係なくグローバルになつてきている中で、男女の差をどうしていくかより自分たちが何をやりたいかの方が大事だと思います。

市長…本日はありがとうございます。ぜひ、今後とも筑西市のPRのためによろしくお願いたします。

鎌田…どうぞよろしくお願いたします。

- 1966年旧下館市生まれ。
- 1989年東日本旅客鉄道(株)入社。本社開発事業本部を経て、大手百貨店に向向。
- 2001年本社事業創造本部「立川駅・大宮駅開発プロジェクト」でエキナカビジネスを手がける。
- 2005年「ecute」(エキユート)を運営する(株)JR東日本ステーションリテイリング代表取締役社長に就任。
- 2008年11月本社にて、地域活性化・子育て支援事業を手がけ、2010年6月より現職。
- ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006を受賞。
- 茨城県農政審議会農業改革委員・いばらき大使。東京都在住。

※エキキュート…エキナカ商業施設のこと。「ecute」・eki(駅)・center(真ん中)・universal(あらゆる人がtogether(一緒に)enjoy(楽しむ))を表した造語。

※6次産業…農業や水産業などの第1次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態。

※ダイバーシティ…企業で、人種・国籍・性・年齢を問わずに人材を活用すること。